

# 進路指導部だより 第3号

令和2年10月9日(金)発行  
東京都立八王子西特別支援学校  
校長 井上 美保

〒193-0834  
八王子市東浅川町546番1号  
TEL 042-666-5600(代)

発行元：進路指導部 担当：木原 令子 URL <http://www.hachiojinishi-sh.metro.tokyo.jp>

## 様々な進路先 生活の場

高等部卒業後の進路先を考える際「企業就労」「福祉就労」など「日中働く場所」「日中活動する場所」の他に、「生活の場」についても知っておくことが大切です。御希望の場合は、必ず在学中に見学をし、障害者福祉課の窓口で、受給者証申請の手続きなどありますので、早めに御相談ください。生活の場として「通勤寮」と「グループホーム」を紹介いたします。また「職業能力開発校」は、福祉事業所というに移行支援事業所のように就労を目指す学校です。条件などを載せますので参考にしてください。

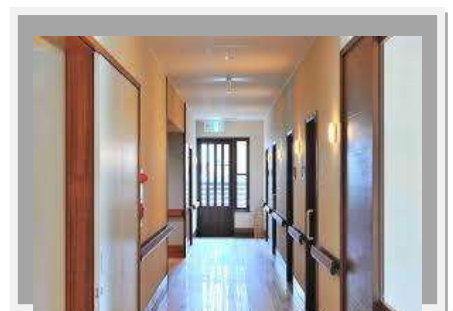
### 【通勤寮について】

通勤寮とは、親元から離れ、一般就労しながら社会で生活するためのルールや生活習慣を身に着ける施設です。そのため、企業就労をしていることが条件となります。都内には6カ所の通勤寮があります。「立川通勤寮」「町田通勤寮」に多く卒業生が入寮しています。ひとり暮らしに一番重要なことは、金銭管理です。その訓練を十分に積んで、入寮2年間で最低150万円は貯蓄します。食事や光熱費が安いので、貯蓄には好都合です。基本的に2人部屋ですが、最近は個室も増えてきています。アパートではないので、共同生活となりますので、ルールや自治会があります。



### 【グループホームについて】

グループホームとは、少人数で共同生活をする施設のことで、福祉サービスなので受給者証と障害程度区分が必要です。多くのグループホームでは、世話人さんがいて食事が提供されます。個室があり、お風呂や食事は共同の場合が多いです。マンションの教室を借り上げ、一室に世話人さんが住む完全独立型のグループホームもありますが、グループホーム全体が戸建てになっているところが多いです。グループホームに入所希望の場合、空き状況を確認し、見学をします。体験入所をすることもあります。入所が内定すれば、市役所の障害者福祉課で手続きをします。グループホームは18歳以上で受けられるサービスです。



## 【職能校について】

「職能校」とは、東京都障害者職業能力開発校のことです。東京都には小平、また神奈川県の職能校が相模原にあります。神奈川県在住でなくても受験ができます。受験は学校からハローワークを通して申し込みます。内容は筆記試験と面接です。様々な学科があり、障害別に受験できる学科が決められています。東京都の小平校で知的障害者の受験できる学科は「実務作業科」のみです。内容は、高等部での「職業」など社会人としての知識を座学で学ぶものや、「作業学習」のように、パソコン作業、清掃作業、物流作業、製品加工作業などを通して働く力（コミュニケーション力）を付けるものです。在学期間は、最大1年ですが、力がついたらと判断されれば、1年を待たずに、現場実習が生まれ、うまくいくと採用へと繋がり、職業能力開発校は卒業となります。



## 高等部3年生現場実習の現況・高等部2年生現場実習の予告

高等部3年生は、夏季休業が明けてからⅡ期の現場実習が順次始まっています。高等部3年生にとっては、進路実現に向けた重要な実習となります。今までの御家庭の支援や学校の教育活動を通して培った力を存分に発揮してきて欲しいと思います。

高等部2年生は、10月頃から順次体験実習が始まります。今年度はコロナ渦の中、高等部3年生の実習時期が遅れた影響もあり、例年よりも実習期間が短くなります。また、1年生のときは教員が引率しての2日間のインターンシップ（就業体験）でしたが、今回からは、基本的に教員の引率はなく、自分で課題解決を図っていく現場実習となります。

保護者の皆さまには、コロナ渦の状況ではございますが、場合に応じて初日の御挨拶や中日の見学、最終日の御挨拶と幾度となく実習先へ行っていただくこともあります。御協力をよろしくお願い申し上げます。